

IV 研究開発

1. はじめに

当研究センターの2020年度の研究開発について、報告する。研究開発は、光源加速器及びビームライン等の高度化並びに新規実験技術開発等を目的とし、当研究センターの試験研究費及び国の科学研究費等に基づいて実施した。以下に、その概略を述べる。

2. 研究開発の概略

2-1 試験研究費による研究

2020年度実施された研究は、表1のとおりである。

表1 2020年度に実施された研究

課題名	代表者（分担者）
低真空軟 X 線吸収スペクトル測定システム	小林英一
白色放射光を用いたサブミリ秒超高速イメージングの検討	米山明男
次世代半導体材料の結晶歪み・欠陥構造の研究V	石地耕太郎
パラメトリック X 線を利用した新しいビーム診断技術の開発	高林雄一

2-2 科学研究費助成事業による研究

当研究センターは、2006年度から科学研究費補助金取扱規程による学術研究機関の指定を受けており、研究員は科学研究費の応募が可能である。

2020年度に交付決定を受けた研究はなかった。また2020年度より前に交付決定を受けた研究は、表2のとおりである。なお、「多重エッジ放射干渉効果の

研究」については、期間延長の申請を行い、1年間の延長が承認された。

表2 2020年度より前に交付決定を受けた研究

期間	種目	課題名	代表者
2018 ～ 2021 年度	基盤研究 (C)	多重エッジ放射干渉効果の研究	江田茂
2018 ～ 2020 年度	基盤研究 (C)	レーザー誘起蛍光法で探る希ガス原子のVUV渦励起	金安達夫